

令和7年度 相馬市外部評価委員会 市事務事業の外部評価結果

【評価点】

7名の委員が事務事業ごとに事業の妥当性（必要性）や効率性（有効性）などについて5点満点で評価したものの平均。

【A評価 0事業】 事業は必要かつ有効であり推進することが妥当

（評価点 4.0以上）

【B評価 15事業】 事業の改善を図りながら継続することが妥当

（評価点 3.0～3.9）

【C評価 0事業】 事業の一部修正・再検討（事業内容・手法・規模・実施主体等）が必要

（評価点 2.0～2.9）

【D評価 0事業】 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要

（評価点 1.9以下）

No.	事務事業名	点数	評価	コ メ ン ト
1	戸籍への振り仮名記載の推進	3.9	B	戸籍への振り仮名記載は、行政サービスのデジタル化と効率化を促進するための基礎的な環境を整えるために必要な取組です。 市民に丁寧に説明しながら、滞りなく推進してください。 取組推進に際しては、氏名という個人のアイデンティティに関わるセンシティブな情報を取り扱うことから、正確な対応が求められます。職員への講習等を通して様々なケースを想定した準備を行い、トラブルのないよう進めてください。
2	ノーマライゼーションの理念の更なる普及・啓発と障がい者雇用の推進	3.6	B	ノーマライゼーションの理念を市民に根付かせていくことで、社会的マイノリティーを特別視する事なく、すべての人が同等に生きていける社会を目指してください。 市民一人ひとりが日常の具体的な行動を通じて実践することで、社会全体で支えることができるよう、企業や学校とも連携して、合理的配慮の理解を深める啓発活動の展開を期待します。 また、障がいのある方が仕事を通じて社会参画し、充実した人生を送ることができるように、障がい者雇用の更なる推進をお願いします。
3	授業の質的改善と家庭学習の充実	3.7	B	子どもたちが将来豊かな人生を歩むことができるよう、読解力向上を目標に実施してきたこれまでの授業改善の取組が徐々に成果として現れています。今後も、基本となる読み書きへの注力と、教科書の徹底活用を継続してください。 一方で、家庭学習の面では、手引き作成などの取組は行われているものの、子どもの自発的な学習を促すための取組も重要です。 子どもの学習意欲を高めるため、授業を通じて各教科の楽しさや学ぶことの意義を伝え、子どもたちの知的な好奇心や達成感を引き出せるよう努めてください。
4	男女共同参画意識の啓発活動	3.6	B	家庭や職場で旧来から残る固定的な「性別役割分担意識」が、若者の地元離れの一因となっており、男性も女性も共に能力を発揮し、共に責任を担う社会を目指した啓発活動がより一層求められています。 啓発活動を積極的に推進することで取組が広がり、具体的な変化につながるように、若年層や男性も関わるができるテーマや取組の工夫を期待します。
5	移住定住総合窓口による支援の実施	3.4	B	移住やUターンを通じて相馬に若い世代を定着させることは、産業や地域コミュニティ、公的サービスの維持など、あらゆる面において地域の存続に直結します。 また、各地域においても同様の取組が活性化中、各種メディアで目にする他市の取組と比較すると、まだまだアピール不足を感じます。 特に、Uターン希望者向けの情報提供及び支援の充実や、移住者の生の声の発信による、相馬での暮らしをイメージできる情報発信の強化など、更なるPRをお願いします。
6	おでかけミニバスと生活路線バスの効果的な運行に向けた検討	3.9	B	交通手段を持たない高齢者にとって、おでかけミニバスは生活上極めて重要なインフラです。 高齢化の進展により、今後ますます利用希望者の増加が見込まれること、また高齢者による自動車事故防止にもつながることから、免許返納のタイミングなど、あらゆる機会を捉えたPRと利用促進をお願いします。 新たに導入した予約制による運行は、利用者の利便性と効率性の両面において効果的な方法であると評価します。運行開始後は、成果と課題を速やかに検証し、改善を加えながら最適な形へ構築していくことを望みます。
7	相馬の「食・自然」を活かした観光と物産の振興	3.6	B	観光・物産の更なる振興を図るため、相馬の食や自然、史跡など、ポテンシャルのある観光資源を大いに活用し、より効果的な施策となるよう、関係者を巻き込んだ検討を進めてください。 特に、相馬ならではの様々な海産物のPRや体験型イベントの充実を望みます。 また、イベントの開催やインフルエンサーによるSNSでの発信など、施策ごとの成果を定量的に把握し、継続的な来訪促進につなげていくことを期待します。
8	中心市街地活性化基本計画の策定に向けた取組み	3.5	B	人口減少の進行が確実に見込まれる中、中心市街地を活性化していくためには、従来にはない柔軟な発想と思い切った施策が必要となります。 幅広い人達から意見を収集し、基本計画の策定にとどまらず、魅力的な街づくりに向けた継続的な検討をお願いします。 また、活性化のための施策の実施にあたっては、部署をまたいでの財源の捻出や一貫性のある取組など、全庁を挙げた戦略的な取り組みにより、実現に移していくことを期待します。
9	市営住宅使用料徴収率の向上と滞納繰越額の縮減	3.7	B	市営住宅の提供は、セーフティーネットとしての側面もあることから、厳格な使用料徴収には様々な困難を伴うものと思われますが、受益者負担や公平性という観点や、健全な財政運営という観点を踏まえ、未納・滞納への取組を積極的に推進してください。 徴収率向上に向けた現在の取組は、法的手段の活用も含め着実に進んでいるものと評価します。今後は、入居者への配慮は保ちつつ、持続可能な運営を目指してください。
10	相馬市下水道事業経営戦略に基づいた事業経営	3.9	B	人口減少や物価高騰により、下水道事業を取り巻く環境が厳しさを増しつつある中、中長期的視点に立った安定的かつ持続的な経営が求められています。 また、本年1月に埼玉県八潮市で起こった、老朽化した下水道管の破損による道路陥没事故を教訓に、設備の適正な維持管理とその費用負担についても考えなくてはならない状況となっています。 これらを踏まえ、今後の使用料改定の方針は必要なものであると評価します。今後は、市民への丁寧な説明を通じて、理解と納得が得られるよう、情報発信の仕方を工夫してください。
11	若手狩猟者の育成及び狩猟従事者への支援	3.7	B	サルやイノシシによる農作物への被害が多く、多くの地区で発生しており、対策が急務となっています。 また、近年は野生生物が民家や学校の近くにも出没しており、昨今全国的に問題となっているクマによる人身被害の例もあり、若手狩猟者の育成がますます重要度を増している状況です。 対策にあたっては、狩猟者の育成や処遇改善、里山の適切な保全といった中長期的な対策と併せて、現在困っている地域住民の声に直接的にこたえられるような実効性のある取組にも期待します。
12	浜の駅松川浦の利活用	3.6	B	浜の駅松川浦は、オープン以降、集客・売上は堅調に推移し、相馬の魅力発信拠点としての取組も継続的に実施されており、順調な船出になったものと評価します。 一方で、平日の集客についてはまだ伸びしろがあると思われます。平日は市民向けのイベントを企画するなど、いつ行っても面白いと思われる浜の駅松川浦を目指してください。 今後は、売上や集客数の増加だけでなく、店舗を訪れたお客様の顧客体験価値の向上にも目を向け、より一層愛される施設となることを期待します。
13	ごみ減量化再資源化の更なる推進	3.5	B	今後予定されているプラスチック及び衣類、また昨今火災事故が頻発して社会問題となっているリチウムイオン電池等の拠点回収の取組は、循環型社会構築のためのリサイクル推進施策として適正であり、取組の推進をお願いします。 回収率向上のためには、新たなルールの周知がポイントとなりますので、市民にとって分かりやすい説明を心がけてください。 なお現在においても、ゴミ出しのルール遵守が徹底されていないケースも散見されますので、厳格な措置も念頭にに入れて、必要な対策の検討をお願いします。
14	行政のデジタル化及び行政手続きのオンライン化の推進	3.8	B	人口減少が進む中、職員数の減少も視野に入れた行政事務の効率化策を模索していく必要があります。 行政のデジタル化及び手続きのオンライン化の推進により、「書かなくてよい窓口」や「行かなくてよい市役所」を実現し、業務効率と市民サービスの向上を目指してください。 オンライン化対象の業務数は相当数に上ることから、不具合の発生や手続きの遅延につながることを避け、計画的かつ確実な推進をお願いします。
15	消防団活動への支援	3.8	B	消防団は、市民の安全を支える極めて重要な任務を果たしていますが、実際の活動内容については、市民への周知がまだまだ不足しています。 近年、消防団員の高齢化や団員数の減少が進行してきており、消防団の維持のためには、若年層へのアピールの強化や、各団体や組合からの人員派遣、分団内の班の再編など、限られた人員や資源の中で検討が必要となっています。 消防団活動への支援は地域の防災力維持のためには欠かせない取組であることから、今後も積極的に推進してください。併せて、活動内容の見直しを含めた、負担軽減のための検討も期待します。